

令和3年度人事院政策評価結果

政策所管部局

人材局・公務員研修所

<p>政 策</p>	<p>2 時代の要請に応じた公務員の育成</p>
<p>目 標</p>	<p>(政策目標) 公務員に対する国民の信頼を確保するため、各府省職員に国民全体の奉仕者としての役割を改めて再認識させるとともに、複雑・多様化する行政課題に対応することのできる人材の育成に資する研修の適切かつ効果的な実施に努める。</p> <p>(具体的取組) 人事院の実施する研修において、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を考慮しつつ、令和3年度は次の取組を行う。 (1) テーマ別研修及び指導者養成研修を適切に実施するため、オンライン研修の積極活用などを通じ、研修ノウハウの充実や運営方法等の工夫を行う。 (2) 各府省等のニーズを踏まえながら、研修教材の充実を図るとともに、研修ノウハウの共有を行うなど研修促進のための支援を行う。 (3) オンライン研修も含め、各階層別の行政研修を着実に実施し、各府省職員に研修機会をできる限り提供する。また、時代の要請やそれぞれの研修コースのニーズに応じて政策課題や事例研究の充実を図るとともに、オンラインでの実施にも対応できるよう、カリキュラム、実施方法等を見直す。</p>
<p>具体的取組結果</p>	<p>《取組内容1》</p> <ul style="list-style-type: none"> 本院で実施するテーマ別研修、指導者養成研修については、実習を伴う研修を除き完全オンライン形式または対面/オンラインハイブリット形式で実施した。他の研修においても、オンライン実施に切り替えたことを考慮し、日程を分割し1日当たりの講義時間を短縮する、カリキュラムの時間を短縮しつつ自習教材としてテキストを作成し配布する、などの工夫を行った。 <p>《取組内容2》</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修の企画や実施に関する諸課題把握のために各府省からのヒアリングを行い、翌年度の施策に反映した。研修担当官能力向上研修では、オンライン研修をテーマとし、オンライン研修の企画・実施のノウハウを研修内容とするとともに、各府省が持つ課題や情報を共有する討議時間を設けた。一部の研修コースについては、各地方事務局の研修担当者が、オンライン研修の実施に向けオンライン研修を経験できるよう、本院で実施するオンライン研修への参加や傍聴を呼びかけ、ノウハウを共有した。 <p>《取組内容3》コロナ禍における研修機会の確保と時代の要請に応じた研修カリキュラム等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染状況に対応するため、初任行政研修について、当初の研修実施計画（5月から7月にかけて2週間連続して対面研修を実施）を見直し、5月から7月にかけて第一週目（3日間）を、8月から10月にかけて第二週目（5日間）をオンラインで実施した。また、3年目フォローアップ研修を当初計画の合宿研修（4日間）からオンライン研修（2日間）へと変更して実施した。その他の研修については、実施日程はほぼ変更せず、実施方式を対面研修からオンラ

	<p>イン研修に変更することにより、当初計画どおりの研修機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施方式をオンラインに変更するに当たっては、ウェブ会議システム上の機能（Cisco Webex Meetingsにおけるブレイクアウトセッション機能）を活用し班別討議の時間を設けるなど、研修員が様々なメンバー構成で議論できるよう配意した。また、地方や海外在住講師の招へいや、バーチャルツアーを利用した現場学習など、オンラインの長所を生かした取組を行った。 ・ 時代の要請等に応じた研修内容となるよう、政策課題研究や行政政策事例研究において新規テーマを設定したほか、新しい現場訪問先を開拓するなど、カリキュラムの見直し、充実を図った。
<p>測定指標</p>	<p>（取組内容1関係） 測定指標：実施した工夫等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記記載のとおり。 <p>（取組内容2関係） 測定指標：実施した研修促進支援の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記記載のとおり。 <p>※オンライン研修の開催実績のある事務局数 令和2年度：6箇所（うち5箇所は本院配信） 令和3年度：全9箇所ですべて単独実施</p> <p>（取組内容3関係） 測定指標：研修の実施状況及び実施した見直し等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画していた研修（42コース）をすべて実施した。 ・ オンラインでの実施に対応した見直しを行うとともに、新規テーマの設定などカリキュラムを見直した。
<p>達成度の評価</p>	<p>《評価》目標達成</p> <p>《目標達成度の判断理由》</p> <p>取組内容1及び2については、新型コロナウイルス感染拡大により研修の実施についても従来とは異なる方法を開拓する必要がある中で、会議システムの新機能も随時取り入れていくなど研修ノウハウを充実させ、促進するとともに、各研修実施機関間での情報共有を促進する取組を行った。</p> <p>取組内容3については、上述した具体的な取組の実施により、新型コロナウイルスの感染状況にかかわらず、ウェブ会議システムを活用し、当初計画していた研修をすべて実施した。また、オンラインでの実施に対応した見直し、新規テーマの設定などカリキュラムの見直しを行った。以上を踏まえ、令和3年度における政策は、目標達成と判断した。</p>
<p>施策の分析</p>	<p>《取組内容1について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの感染状況に応じて工夫を行い、オンラインでの研修ノウハウが蓄積されたという点において有効であった。 <p>《取組内容2について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン研修が必要とされる中で、ノウハウ共有を推進でき、オンライン研修の推進という点において有効であった。 <p>《取組内容3について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度政策評価において今後の課題としていたウェブ会議システムを活用したオンライン研修については、円滑に実施できるように

	<p>なり、研修を着実に実施するという点において有効であった。</p>
<p>今後の施策に反映させるべき事項</p>	<p>《取組内容1》</p> <ul style="list-style-type: none"> • これまでに蓄積されたノウハウも活かしながら、各研修の内容や目的に応じて、eラーニングや動画をはじめとする研修教材の提供を検討するなど、積極的にオンライン研修を活用する。 <p>《取組内容2》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地方事務局（所）が提供している、汎用性の高いマネジメント系研修内容（コーチング、リーダーシップ、コミュニケーション等）について、研修教材を順次作成し、各府省及び地方事務局（所）に提供していく。 <p>《取組内容3》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 来年度においても、新型コロナウイルス感染症の感染状況にかかわらず、研修を着実に実施することを前提とした上で、研修効果、参加のしやすさも考慮して、合宿、通勤、オンラインの実施方式を適切に選択し、組み合わせていく。また、研修目的の達成状況や講義に対する評価など意見調査票の結果を踏まえたカリキュラムの見直し等を行い、研修効果を高めるための見直しを不断に行っていく。
<p>有識者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政はデータに基づき行うと言われて久しいが、公務員のデータや統計に関するリテラシーのレベルは低いと感じる。統計に直接関わらない職員であっても間接的に統計を使うことはある訳だから、データや統計の基礎的な部分は、今の時代として押さえておくべきポイントである。 ○ 時代の要請に応じた公務員の育成のためには、オンライン研修の手法や段取りだけではなく、いくつか踏み込んだことも検討されるのではないのか。 ○ ニューノーマルという概念が浸透している中で、リモートをやめて元に戻るといえることはおそくないだろう。リモートであれば国際研修を比較的容易に行うことが可能となるので、是非進めていただきたい。また、グループワークにてクラウドによるファイル共有を実現すれば、格段に効果が上がる。リモートワークを体得し、リモート上でリーダーシップを発揮できる公務員を多く育成することが、今後の社会には重要ではないか。